

# 第 151 期

## 中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

- P1 株主の皆様へ／連結業績ハイライト
- P3 セグメント別の概況
- P5 コーポレート最前線
- P6 会社概要・株式の状況／株主メモ
- 裏表紙 身のまわりで活躍する荏原



## 株主の皆様には平素より格別の 第151期第2四半期連結累計期間の当社グループ

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、米国においては景気の回復が続いており、ヨーロッパでも景気は持ち直していますが、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の減速などにより、先行き不透明感が広がりました。国内では、公共部門の投資の動きは弱い一方、個人消費や住宅建設、民間部門の設備投資に持ち直しの動きが見られ、全体として景気の緩やかな回復基調は継続しました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、精密・電子事業の増加により、前年同期を上回りました。売上高は、全ての事業で前年同期を上回りました。営業利益は、精密・電子事業での大幅増及び風水力事業での改善の結果、増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,070億

## ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 の業績概況についてご報告申し上げます。

65百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は46億16百万円(前年同期比52億32百万円の改善)、経常利益は38億34百万円(前年同期比41億43百万円の改善)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億57百万円(前年同期比32億81百万円の改善)となりました。

中間配当につきましては、1株あたり6円とさせていただきます。

当社グループは、2016年度を目標年度とする3か年の中期経営計画「E-Plan2016」に基づき「経営基盤強化」から「成長」へと明確に舵を切る変換点」と位置付け、スピード感を持った変化の実現と成長の加速を図る施策に注力しています。

当社は本年6月24日に開催された株主総会での承認を経て、「監査役会設置会社」から「指名委員会等設置会社」へ

移行しました。移行後は独立社外取締役(7名)及び執行役を兼務しない社内出身の取締役(4名)中心の取締役会(合計14名)構成とすることで、独立性・客観性の観点から経営の監督機能を強化し透明性の向上を図っています。また、取締役会と執行組織の役割・責務を明確に分離することで、グローバル視点からも理解しやすいコーポレートガバナンス体制とするとともに、広範な業務執行権限を執行組織に委任することによって迅速かつ果敢に挑戦できる環境を整え、機動的な経営を推進しています。

今後もコーポレートガバナンス体制のさらなる強化を進めるとともに、企業価値、株主価値の向上に邁進する所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

### 連結業績ハイライト

売上高  
**2,070**億円 前年同期比 **11.3%** ↑

営業利益  
**46**億円 前年同期比 **52**億円 ↑

#### 経常利益

**38**億円 前年同期比 **41**億円 ↑

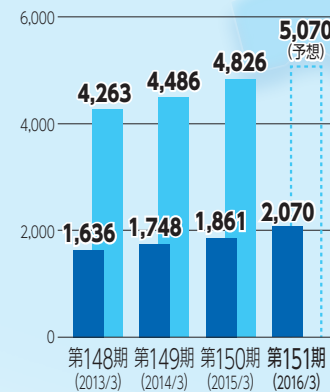
#### 親会社株主に帰属する四半期純利益

**13**億円 前年同期比 **32**億円 ↑

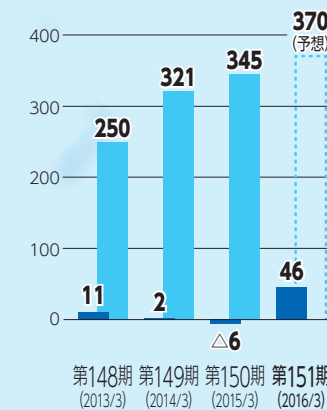
#### 1株当たり配当金

**6.00**円 前年同期比 **2.25**円 ↑

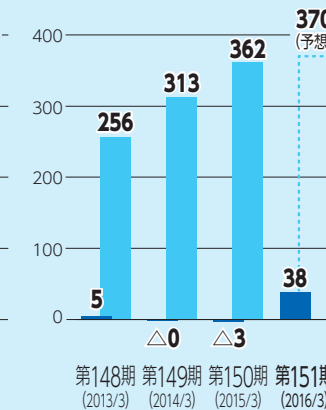
売上高 (単位: 億円)  
■第2四半期 (累計) ■通期



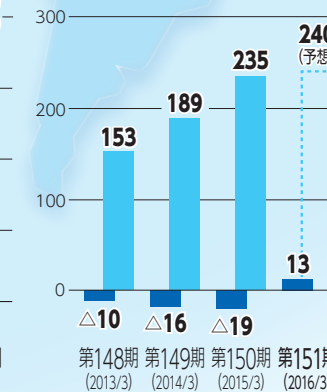
営業利益 (単位: 億円)  
■第2四半期 (累計) ■通期



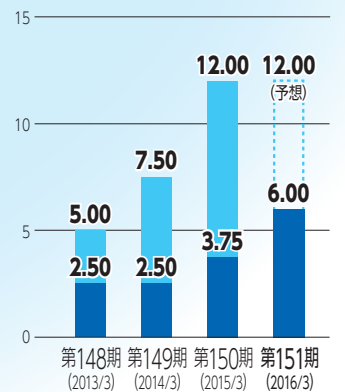
経常利益 (単位: 億円)  
■第2四半期 (累計) ■通期



親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 (単位: 億円)  
■第2四半期 (累計) ■通期

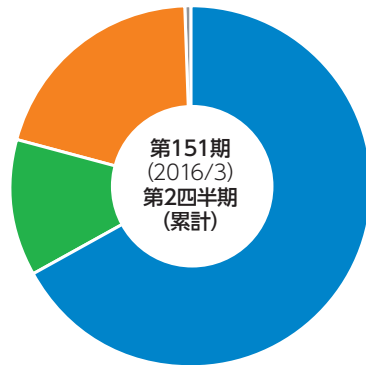


1株当たり配当金 (単位: 円)  
■中間 ■通期

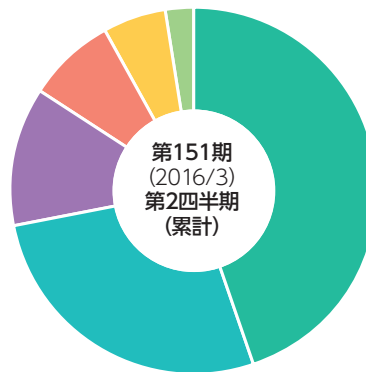


詳しい業績情報はWEBサイトへ >>> <http://www.ebara.co.jp/ir/>

## 事業別売上高構成比



## 地域別売上高構成比



(注) 日本以外の地域に属する主な国又は地域  
 アジア: 中国、韓国、台湾  
 北米: 米国  
 欧州: ドイツ  
 中東: サウジアラビア  
 その他: ブラジル

風水力事業  
67.0%

エンジニアリング事業  
12.4%

精密・電子事業  
20.2%

その他  
0.4%

日本  
44.9% 929億円

アジア  
27.1% 560億円

北米  
12.2% 252億円

欧州  
7.8% 161億円

中東  
5.7% 118億円

その他  
2.3% 46億円



## 風水力事業

創業以来の主力製品であるポンプをはじめ、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、優れた技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 大井 敦夫

## 主要製品

- ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

売上高 1,387億円 前年同期比 5.5% ↑

営業利益 △18億円 前年同期比 12億円 ↑

## ポイント

- ポンプ事業は、海外における中東や東南アジアなどのプラント向け案件を中心に業績が伸長。国内でも建築設備向け案件を中心に堅調。
- コンプレッサ・タービン事業は、顧客の設備投資が減速する中、サービス&サポート案件の受注に注力。



## エンジニアリング事業

燃焼・ガス化技術を核とする先進的な環境・エネルギー関連技術をベースとして、多種多様な課題に対するトータルソリューションを提供しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 市原 昭

## 主要製品

- 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント

売上高 257億円 前年同期比 10.4% ↑

営業利益 14億円 前年同期比 33.9% ↑

## ポイント

- ごみ焼却プラントの建設工事や施設運転及び維持管理の市場は例年並みに推移。
- 今期は建設工事案件を2件、既設の設備改良工事案件を1件受注。



## 精密・電子事業

ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売まで行い、さらには次世代に対応する装置を開発・製造しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 辻村 学

## 主要製品

- 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

売上高 417億円 前年同期比 37.3% ↑

営業利益 47億円 前年同期比 347.1% ↑

## ポイント

- スマートフォン等のモバイル端末に対する需要が半導体市場全体をけん引、半導体関連の設備投資が増加。
- 顧客の好調な設備投資を背景に業績は好調。



## コンプレッサ累計出荷台数1,000台達成

当社グループの荏原エリオットは、本年8月、袖ヶ浦工場においてコンプレッサ累計出荷台数1,000台を達成しました。米国製造拠点を合わせると3,600台以上のコンプレッサを、世界中の天然ガス・石油精製・石油化学プラントなどに供給しています。

コンプレッサは、プラントでガスの昇圧、循環、圧送などに用いられ、高い信頼性が要求される製品です。こうした要求を満足する製品品質の高さと豊富な実績により、顧客からのエリオットブランドの認知度は高く、世界トップクラスのシェアを誇っています。

今後も顧客ニーズに応じた製品開発を進めるとともに、グローバルに広がる営業・サービス拠点を活用して生産、販売、サービスまで一貫して取り組むことにより、中長期的に成長が見込まれる市場に対し事業を拡大してまいります。



1,000台目のコンプレッサを囲んで  
(出荷前に袖ヶ浦工場にて)

北秋田市クリーンリサイクルセンター  
エネルギー回収推進施設建設工事を受注

エンジニアリング事業は、北秋田市クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設建設工事を受注いたしました。本工事は、既存のごみ焼却施設及びし尿処理施設の老朽化に伴い、一般廃棄物及び汚泥を集約処理する新たな処理施設を建設するものです。汚泥と可燃ごみを混焼させる計画に対して、豊富な実績を持ち、汚泥の量、質の変動に対して、安定した汚泥混焼が実現可能な流動床式焼却炉の採用を提案し受注に結びつけました。今後も安心・安全で安定した廃棄物処理施設の実現に貢献してまいります。



北秋田市クリーンリサイクルセンター  
エネルギー回収推進施設

精密・電子事業 30周年  
(More Passion Next30)

精密・電子事業は事業の立ち上げから今年で30周年を迎えました。

1985年に本社部門のひとつとして発足以来、半導体関連市場で一貫してお客様に望まれるものを、迅速かつ確実に提供してきました。

半導体技術は1947年のトランジスタ発明以来、IBM・デナードの微細化則<sup>※1</sup>を基本としてインテル・ムーアの法則<sup>※2</sup>に則り、60年以上も発展し続けています。その半導体関連市場は、今後ともハイテク産業のトップであることに変わり無く、拡大し続けます。精密・電子事業も顧客と共に発展し、次の30周年を祝えるよう努力してまいります。



精密・電子事業カンパニー  
30周年ロゴマーク

※1 IBM社のロバート・デナードが提唱した集積回路の高速度化についての法則  
 ※2 インテル社のゴードン・ムーアが提唱した半導体チップの集積度についての法則





ダイバーシティ推進室長  
櫻井 悦子

## ダイバーシティへの取り組み

# 社員一人ひとりが能力を発揮し、成長し続ける職場づくりを目指して

人事部門主体で取り組んできた多様性を尊重した人事・人材開発についての活動を加速させるため、2015年4月に社長直轄組織としてダイバーシティ推進室を設置しました。ダイバーシティ推進室の重要テーマの一つである『女性の活躍推進』について、櫻井室長に聞きました。

### 2019年にありたい姿

性別、国籍等によらず個々の従業員の能力を伸ばし最大限に発揮させるための環境の整備、及び発揮された能力に相応しい対価で報いるための制度を導入する。

### テーマ

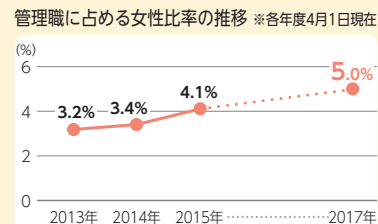
- 女性の活躍推進
- グローバル人材の活躍推進
- 能力を伸ばし最大限に発揮してもらう環境の整備
- 発揮された能力や成果に相応しい対価で報いるための制度の導入

## 女性従業員の状況

当社には2015年4月1日現在853名の女性従業員が在籍しており、全従業員に占める女性比率は20.6%です。この割合は主要機械メーカーの2倍に相当し、女性従業員が多いことを示しています。また、女性従業員の平均勤続年数は男性従業員と同等（17.5年）にまで伸びました。これらのことから、女性従業員の能力をさらに伸ばし、最大限に引き出すことが当社の成長に必要ななっています。

## 今後の目標

現在4.1%の管理職に占める女性比率を2017年4月までに5%に引き上げることを目標としています。



## 抱負

事業環境の変化が激しい中であって、女性従業員が活躍できる環境づくりをきっかけとして、従来の働き方を見直すことにより、当社の競争力向上、及び成長につなげていきます。

ダイバーシティに関する詳細データはWEBサイトへ >>> <http://www.ebara.co.jp/csr/humanrights/diversity.html>

## 会社概要

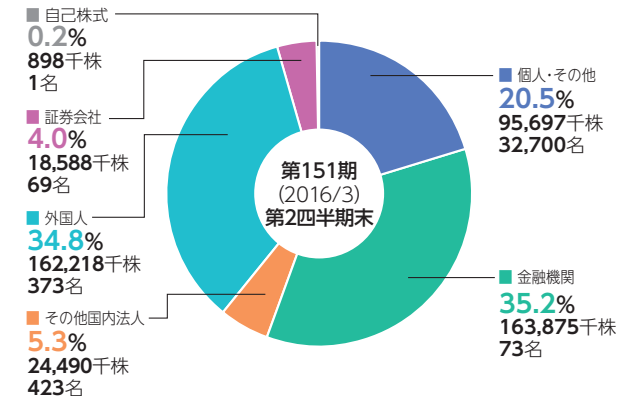
|              |                     |               |                |
|--------------|---------------------|---------------|----------------|
| ■ 創業         | 1912年11月            | ■ 執行役         | 代表執行役社長 前田 東 一 |
| ■ 設立         | 1920年 5月            | 執行役専務 辻 村 学   | 執行役専務 大井 敦 夫   |
| ■ 資本金        | 687億1,896万1,923円    | 執行役専務 国谷 史 朗  | 執行役専務 小淵 伸 治   |
| ■ 従業員数       | 4,041名 (連結：16,000名) | 執行役専務 松原 亘 子  | 執行役専務 野路 生 正   |
| ■ 役員         |                     | 執行役専務 澤部 肇 三  | 執行役専務 栗生 正 太郎  |
| ■ 取締役        |                     | 執行役専務 山崎 彰 三  | 執行役専務 寺垣 彰 夫   |
| 取締役会長 矢後 夏之助 |                     | 執行役専務 前田 東 一* | 執行役専務 木村 浅 見   |
| 社外取締役 宇田 左 近 |                     | 取締役 藤本 哲 司*   | 執行役 飯島 久 彦     |
| 社外取締役 並木 正 夫 |                     | 取締役 辻村 学*     | 執行役 長峰 明 彦     |
| 社外取締役 国谷 史 朗 |                     | 取締役 大井 敦 夫*   | 執行役 宮下 俊 彦     |
| 社外取締役 松原 亘 子 |                     | 取締役 渋谷 勝      | 執行役 市 原        |
| 社外取締役 澤部 肇 三 |                     | 取締役 津 村 修 介   |                |

\*は執行役兼務

## 株式の状況

|            |                 |
|------------|-----------------|
| ■ 発行可能株式総数 | 1,000,000,000 株 |
| ■ 発行済株式の総数 | 465,770,215 株   |
| ■ 株 主 数    | 33,639 名        |

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

|             |   |
|-------------|---|
| 事業年度        | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会      | 毎年6月に開催   |
| 基準日         | 3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。  |
| 配当金受領株主確定日  | 3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日   |
| 株主名簿管理人     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  |
| 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  |
| 郵便物送付先      | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| (電話照会先)     | ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)  |
| 公告方法        | 電子公告 <a href="http://www.ebara.co.jp">http://www.ebara.co.jp</a><br>ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 単元株式数       | 1,000株 上場証券取引所 東京証券取引所  |

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内  
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# 家庭用給水ポンプで快適な暮らしを実現

皆様の生活に欠かせない水を供給するポンプ。  
 当社では、103年の歴史で培った技術を  
 家庭用の給水ポンプに結集しました。  
 ある時は家庭用の井戸ポンプとして、  
 ある時は水圧不足を解消する給水ポンプとして、  
 皆様の快適な暮らしを支える  
 “ちっちゃな”ポンプHPE型 新登場です。



家庭用給水ポンプ HPE型

## 2つの特長

### 低騒音

業界トップクラスの  
静かな運転音を実現

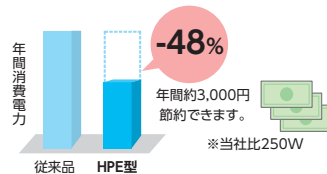


| 環境基準 | 地域の類型   | 基準値       |
|------|---------|-----------|
|      | 住宅専用地域  | 夜間:45dB以下 |
|      | 商業・工業地域 | 昼間:60dB以下 |

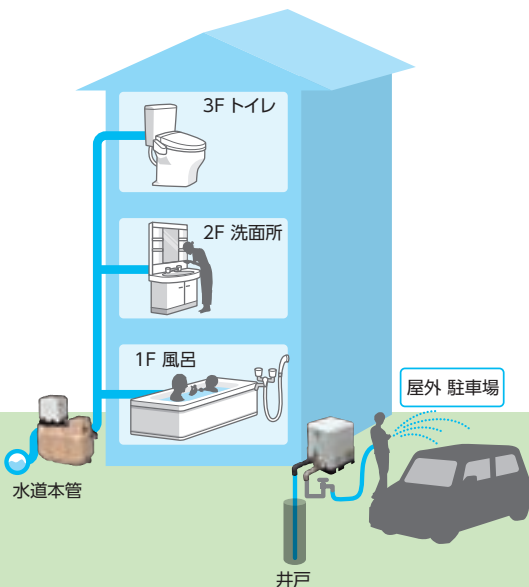
<環境基本法 第16条 第1項 第1-1>

### 省エネルギー

お財布に優しい、  
消費電力48%削減



※計算条件  
 ・1日使用水量 1.000L ・平均使用水量 10L/min  
 ・電気料金 20円/kWh



## 主な用途



井戸水を汲み上げて、  
庭の散水や洗車用に使用



給水加圧装置として  
水圧不足を解消



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号  
 電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

